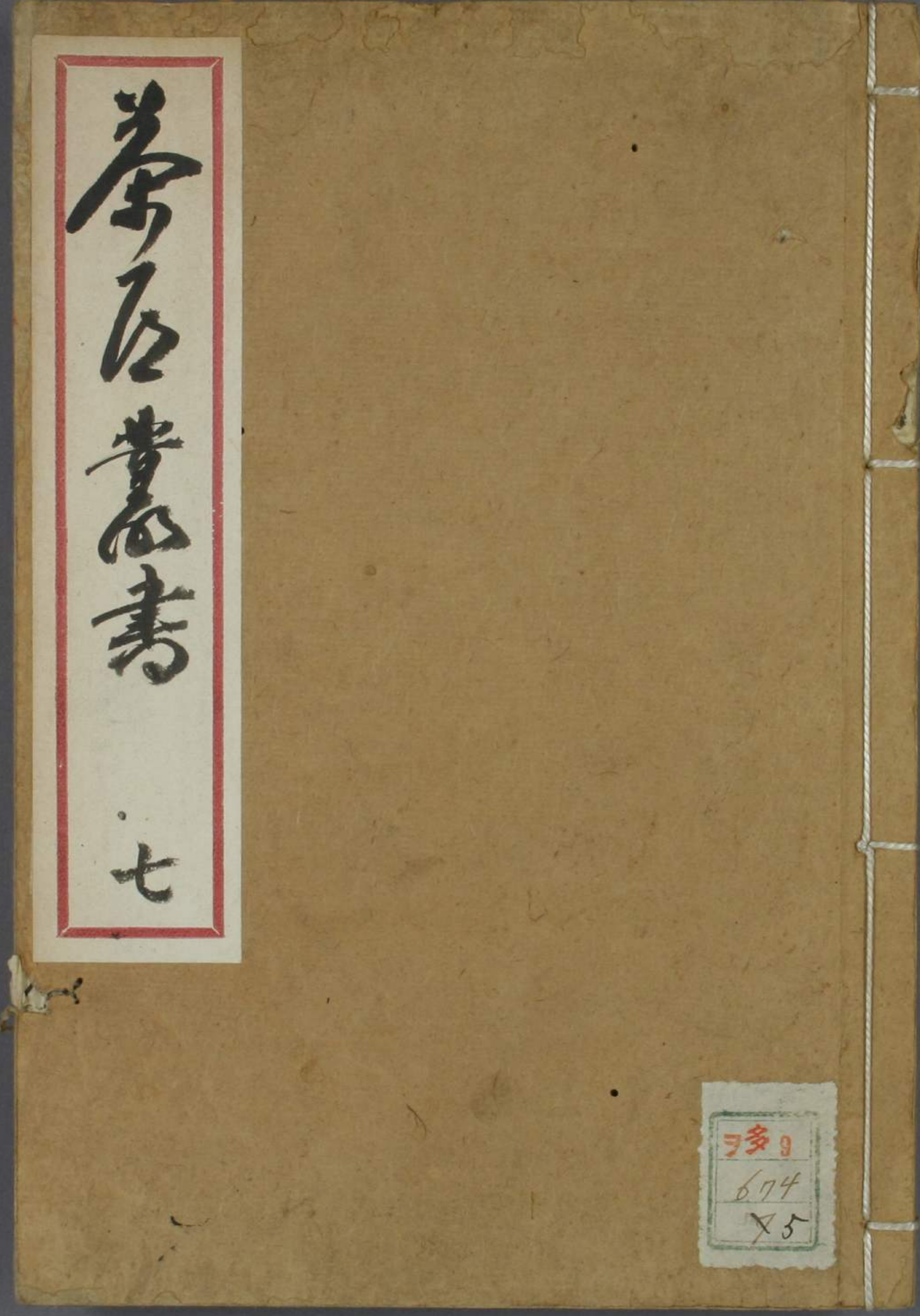






手前ノ時自之事

右ノ年ヲ在リ時ハ左ノ年ヲ膝ニ並ニテ
也也左ヲ在リ時ハ右ノ年ヲ膝ニ並ニテ
事也一ノ事也能知リテハイカ様ニシテ
テモヤハリ思ハレハ有レハ様列ノ事
也也此ノ心持大事也

水ホシニ茶碗入テ長クも

一 是ハ徒テ面白キ事也是ハ今一段也

一 時棚モ十ク揺抄主必せし時風炉ノ左
方猪白ノフスニ猪白ノ方一揺抄ヲ主掛
こま前ニ坐置ニ坐ヲヲキテ沙点ニ揺るる
むケ傾ノ事形ニ揺るるニハハ子た先
是ニ取ス

茶之時宜之事

一 濃茶束ノ此ニ也り春ハ時亭ノ茶ヲ
乞中ハ一後ハ時宜スヘシ五ニ三及ト

亭主一ノモト上客一モ同ニ飲リ涼ク
時宜スルモ又ヨロシカラス

湯返し之事

一 物棚釘堂ノ座右ニ色ハ湯返し紋ある
こま外置子長板棚敷何レモ湯返し
格テスル也何棚敷ノ時ニテモ揺抄猪白一
折入ル湯返しセス氏ヨシ

棚上ノ茶碗之事

一 茶点仕込茶碗シ極一上ナラハ茶碗シヲイ
テ仕込イ極一上ヤを茶巾小能シボリ整
テ仕込ウ也亦脂色一変茶碗シナラハ拭
イ不ヤム

濃茶之時茶碗更之事

一 濃茶ノ時茶碗濃スニモ清ルニモ膝ヲヨリ
中ゆるミ之くるミヤスヘテ居ナカラ清ル濃ミ
テハナカリナカラ貴人ヨリ清ル時ハ膝ヲ

ヨリゆるミ能ウハ又亭ニモ茶ヲ点テおス時
膝ヲヨリ茶碗ヲ出スルナシ足モ貴人
ノ時ハヨリタカヨシ

茶席前ニウス茶点之事

一 此時ハヤハリミル日セウ道具也各指ハ
所ハナトセウタカ面白シ又茶碗モ替茶
巾ヲセウタカヨシカモ茶碗ニカカセ
ヲ点ル事ナシ後濃茶ノ時思ハルヤ各指

又ハ智茶ヲシニテナク大其日ノ乃具ナ
テ不表ニ

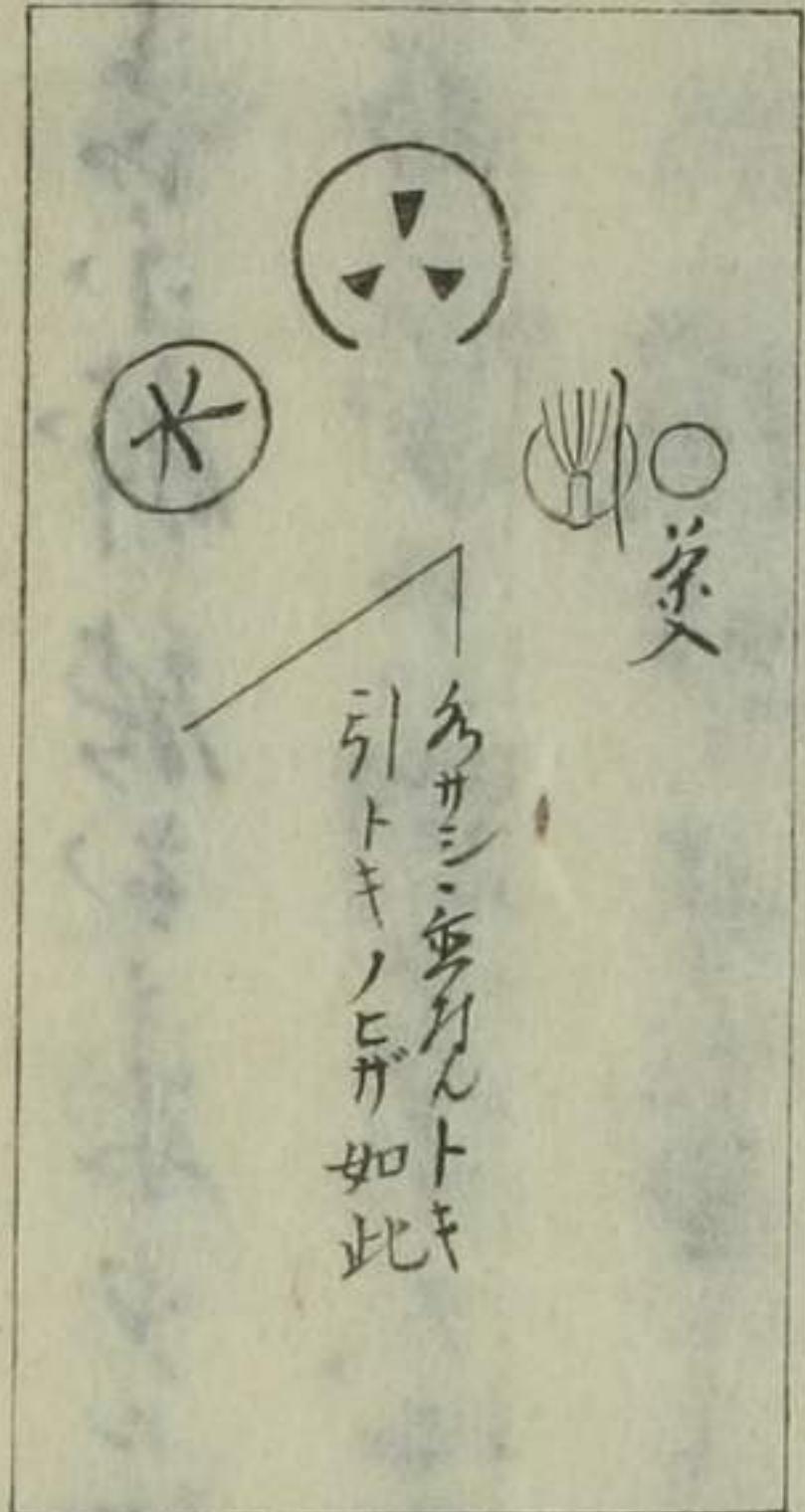
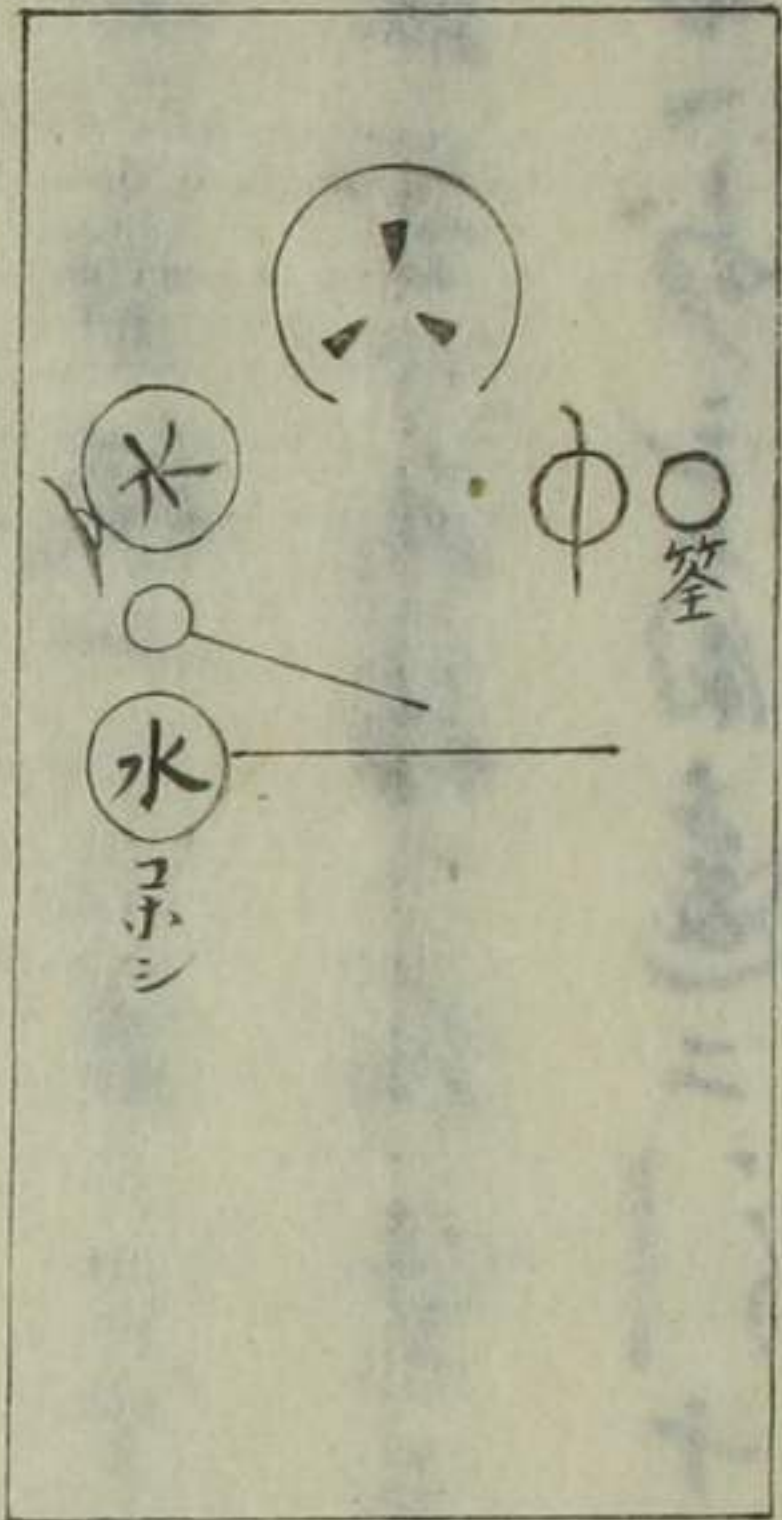
一 予 宗通之夜由シ茶ニ逢タニ時ハ
初ノウス茶ノ時ハヲシ旦解好流茶ノ夢ハ
不燒也後ノ落茶ハ桐ノ府繪有昔也
也を後ノ茶多指モ大ハヲ水也

一 宗師、茶ニ宗通出シ出テ茶ニ在リ胡舍也
此時前ニウス茶沙好ハ如ハ此時ハ行ハ
抄出テウス茶也タニヨシ後ニ宗通ニ取ハ
以テ宗師能ハ来タニ也トハ作ハ又宗通、
沙好ハ如ハ胡茶ノ心也トハ作ハ

風炉中ニ坐シテ

一 是ハ茶板一ツニ坐ノコトク也トハ坐也此時ハ
蓋茶ハ多指ト多コホシノ間一ニ坐キ抄抄家
茶一少シ角遠ニハナリ多ハ茶板一ツ
坐ノコトニ原雙ヨリ初ニ

一 長板ハ二ツ、重ト云ハ中、重ト云也



茶ヲシ茶入主金ハ新後仕也
又ハ新茶入ナリ初師ハ
右ノ二ツノ中ナリ

一 客ニ茶ヲ出ス時ハ先ニ茶ヲ出ス

ワシテ茶入ノ後ノ方ハガシ茶入主金ハ新後仕也

客ノ方ハ出リテキ出シタルカヨシコトナカ

ハ長板一ツ、重ノコトシ炭ノ時モ長板通リ

風炉ヲ向板ノ上ニ重奉

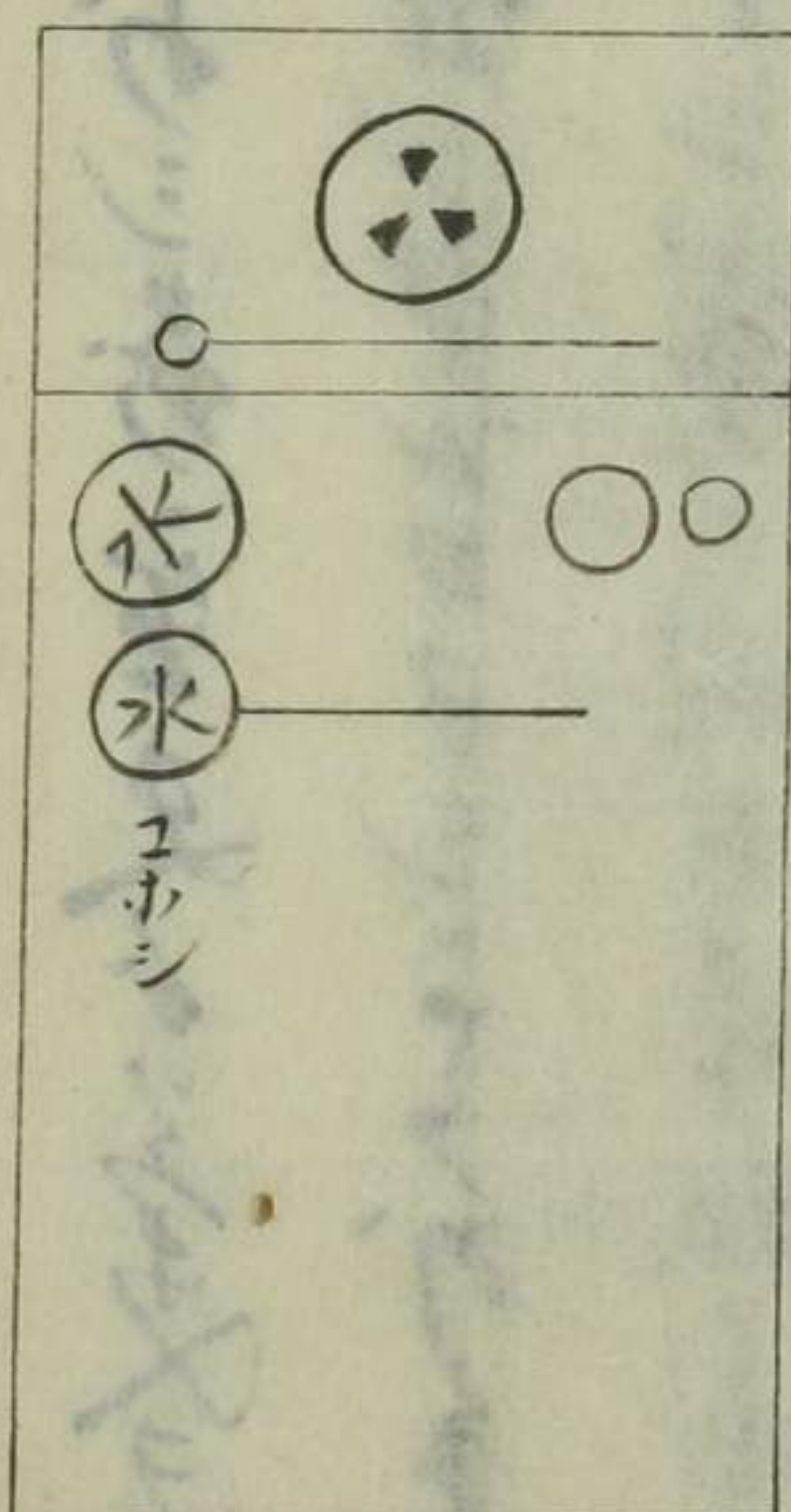
一 向板ノ上ニ風炉ヲ重シ有キハ一ツ重ハ

常ノ通ニ重シモ有併常ノコトク重シ

たハ指シテカノ通シハコト出ナカ

柳抄之十ト重るナシ只懸り上ニ重クヲ
 向板ノ上ニ重タルト成ル一ニモ前ハ長板ニ
 柳抄之十キ物也を柳抄ハ板ノ上ニ横
 ニナリナリ

一 板風炉ハ重不ヤル



一 湯系長出居居ハ出居ル事

貴人ノ時ハ湯系ヲ長キニ炒ナラハ釜蓋
 ヲシメ柳抄フタ重キ仕込イ具カハ出居ヨリ
 仰出テ居ル有リモ時ハ湯系ワシヲ有
 又ハ時内入釜ノ蓋ヲ取ナノ如ク居ナリ

一 風炉ノ時水指ノ前ニテ仕込事

柳抄ハ格テ有格ノ女ニテ仕込ヤル又柳十
 ニ風炉ノトキ水サシノ前ニテ仕込ヤルモ

ヨシ昔ハ皆有指ノ前ニテ位也中ハサレニ
依テ不若い

三ツ傍之事

一 是ハ茶ワシヲ重ニシタ事也水指茶碗
茶入トニツ客入ニ中前ニ飾ニ至也客入テ
水指シヲ指ル茶点也

濃茶ノ飲ヲスニキ有る

一 昔何モシ御代カ知ラスト有茶ヲ殊ノ

分沙大切ニ~~知~~有る有る時分る也
今ハ先ケ極ノ事ニ~~之~~也

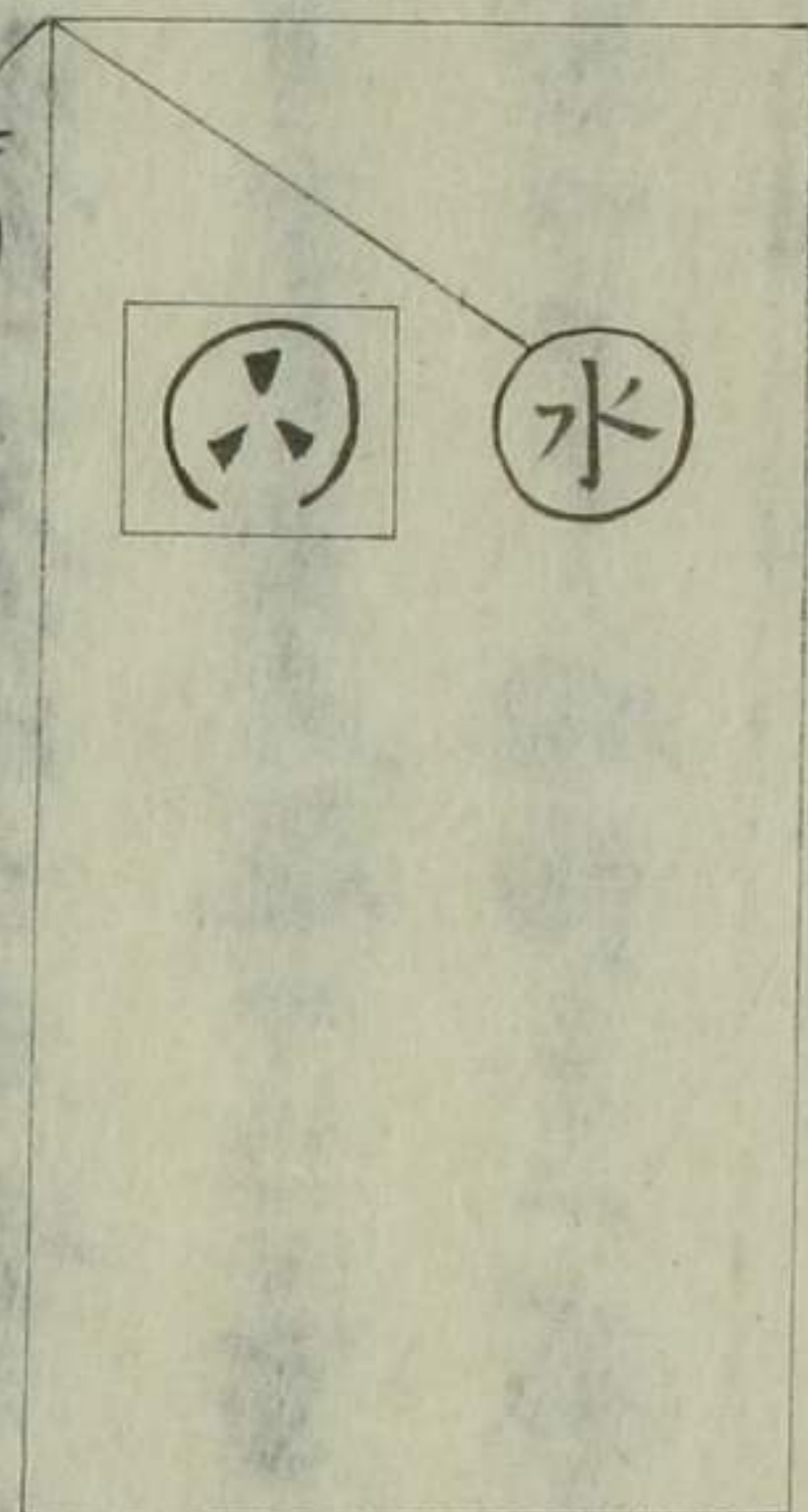
客ニ茶ワシヲ出ス所ノ事

一 是ノ一リヨリ茶碗一ツニ至極明ケテ先ニ
出ス也毛フ早向切トハ右ノ膝ノ廻リ也
先ニ~~之~~極ニスル也

風炉ノ時水指並極

一 風炉先小間中明ケ時ハ水カシ常ノ如ク

金月風炉ノ方向ウノ角ニ付シタル様ニ
置付也



此角ヲ目為ニ常ノ如クも中ニ金月ヲ付シタルナリ

一 又常ノコトク風炉ヲ置キ向ウ六寸程ニ置
タル時ハ常ノ如ク金月環付ノ通り付シタル向キ也

一 濃茶ヲヤウシヨス、カシテ見ル
一 是ハ茶碗ニ茶多ク付タル時有事ナレバ
余リセ又る也ト云フ也

風炉書院ニテ柄杓置ス事

一 書院向ナトニテ柄杓ヲ釘モ、之ノ所ニテ置
置スルアリ併然リ而好ト云フ也ナノ様
等ノコト也



茶

此茶は、茶三柄抄ヲ引ウス茶
丸ノコトク、茶合上ニフクサヲ
金ナリ

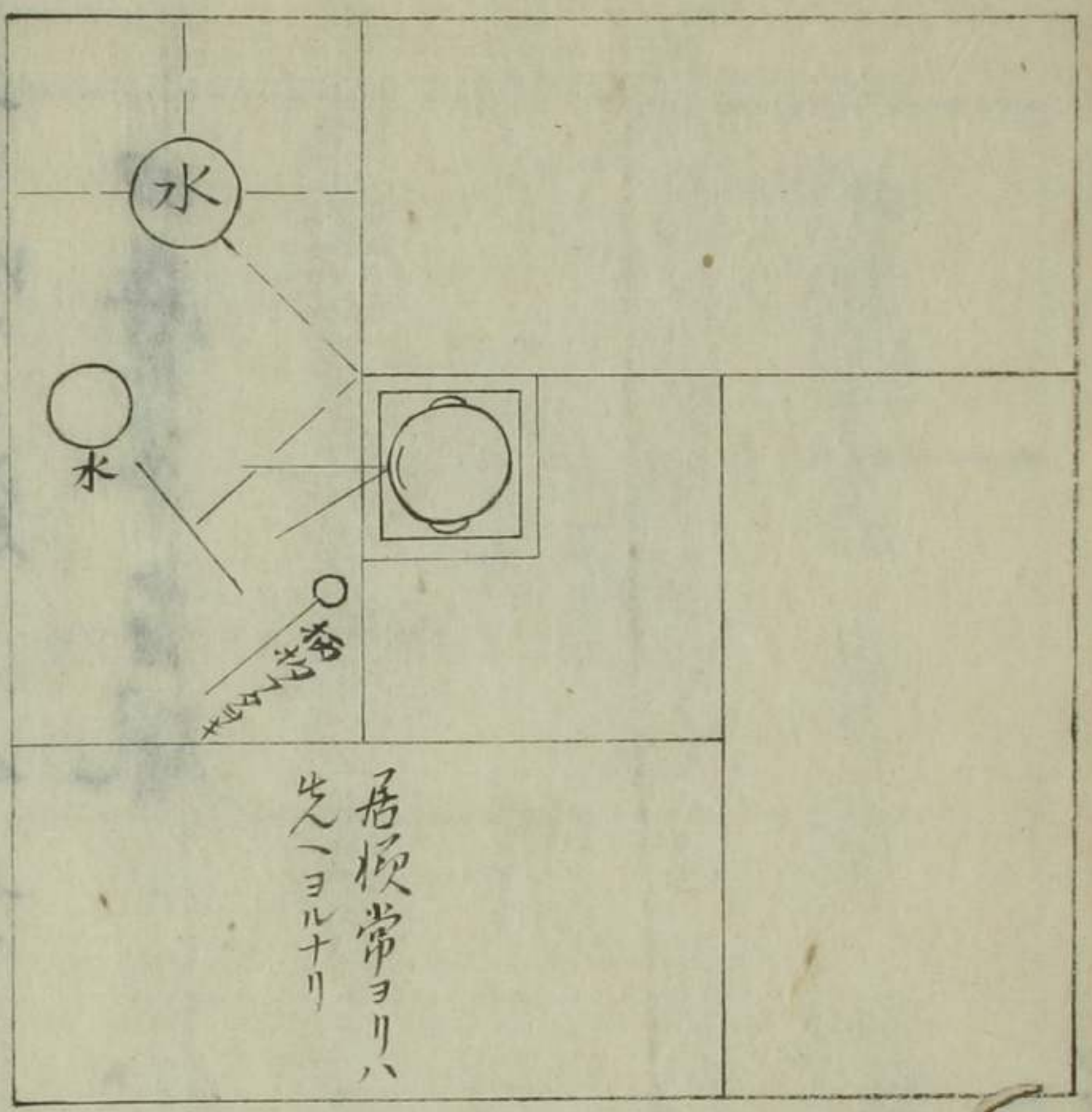
水コホシノ先ニ付テ茶事

一 是ハ茶事ノ先ニ付テハ、茶合ノ
巾子細モ在リテ、茶サシ、
針一モ、金ナリ又、針ハ、
金ナリ

タナカ針カ、茶サシノ、
水コホシノ、
シノ先ニ、
ヲ、
金コホシノ、
付テ、
金ナリ

茶合ノ割

一 炉フ子ノ角ヲ前ニ足ル也



一 柄抄ノ柄全ニ掛ル時其分
十ハ古風也ク用道ニヨクハ
後ニ出ルタル也其方可施
一 水サシ半量四方中も也

一 フクサを振之事

一 角ヲ取引トケタル時柄ノ角向ニ折名時ハ
ニツニ折り又角あへ折名時ハを候ニツニ
折りをム也世トニテ多クノ時ハニツニ折
茶抄ノ時ハニツニ折ト云リ凡ニアラスモノ
を振傳更ノ書ニアリ
一 又ニツニ折テ茶巾ノ振ニをムコノ有之ハ
一 茶巾を振之事

一 煮茶常て目ハニツ折ニ成湯中ノニハ振
ニカハス煮ニ四ニ折也又角飯ニ引張リ
ノコトクニツニ折四ツニ煮ニムルモ有ル歟ハ
大方是ヲ以用ハ世角飯リ折ハ重キ也
也其ノ茶中ト茶ノ茶中ト同夕位ニ
煮ノ煮ニ振傳更ノ書ニ有

一 茶中小板ノ上ニ重ク通安ノ物好也今
以用之

一 シホリ茶中ハ多キニテシホリタルヲガシテ
シモトシリノ候茶中ニ仕也おテソレクニ重
合セ茶中ヲ合ノ蓋おハ多折ニ茶中
茶トウジノ湯ヲ汲入茶中ヲ茶碗ニ重
サテ茶中ヲ注リシホリテ煮ニ由シ合ノ
蓋おハ多折ノ上ニ重キ茶中トウジス
也又厚キ大茶中ニ振ヲ注リ時中ニホリ
茶中ニシテ出テ湯ヲ茶碗ニ入シ湯ヲ

コホシ一拾テ又湯ヲニハイ汲入テ叔中蓋
ヲシメ茶釜ヲ入レ支ガ茶巾ヲシホリ雪
ヤハ叔茶釜トウジヲスル也心付大系
目ノ茶碗ヲ沙を~~沙~~取ル時ウシニスル

刷毛目

一 茶釜トウジヲシテ茶釜トウジハ~~茶~~茶巾ヲナカ
茶巾ヲシホリ雪ニ取ルニテ茶巾ヲナカラ
茶碗ナノ白ニ下リ在茶巾ナカラ茶碗
ヲ一茶巾ニ取リ上テ湯ヲ拾茶碗ヲナカ

一 又大キ~~茶~~茶巾ニハ其茶ホキコ右ニテ茶碗
ノフナカケ~~茶~~茶巾ヲナカ~~茶~~茶巾ニテ
湯ヲ拾スルニ茶巾ヲナカ

一 茶巾モ急須ニクル茶巾ヲナカ~~茶~~茶巾
表ニ用也

茶釜ノ事

一 茶釜ノ表ト云事有茶釜ノ時常ハ何
シヤ列ナク茶釜ノ是モ急須ニシテ茶巾ハ

茶筌ノトジメノ方カ前也

一 茶匙の時を二重するは向ふ重也茶筌ノ
袖ヲ向ふ重二けん事ヤ

一 茶筌トウジヲスルハ先常舂舂初ハ茶筌ヲ
茶碗入ジツト大ユビニテヲサヘン茶筌ヲ二夜
沙々舂サラクトフリ引上テ茶筌ノ重
キス也是モ引上るヲ二夜ニ舂タル事ニモ
十二夜度ニテモヨシ舂後ニ茶筌スグ時モ

一 舂舂ハ向フ茶碗入茶筌センヲサラ
トフリ舂又ニ夜引上ケ見又サラクト
フリテ引上ケ夜ニ遣ス也

一 仕也ニケ柳ニ致り中一夜ノニ茶筌ヲ
フリテ引上ケ中一有クハ是ハ又ト重
キ作略也常ハ致り中ハ間ニハ致スル
也茶筌モ間ノニ舂タル由心舂茶筌モ
我ハ茶ノ湯ニ舂時一夜ケ柳ニ舂ル

茶ヲ点ン包持

一 茶碗ノ内ニテ丸キウレミノ作如物ヲ
茶センニテ一ハスル持能ハ

柄抄取アツカウ事

一 持酌ハ中ノ節ハサシ明ケ持タルカヨシ柄
先ヲ持タルハ惡シ源ヲ持カ古風ニテヨシト
スルハ

一 茶点ニ時アルヲサス時定リハ柄抄ト云レ

一 左ヲ添持重シ水ヲ汲也

一 又水ヲ持ス時右ニテ柄抄ヲ常ニ右ヲ持
スルクトリ重シ左ヲソ（右）右ヲ持ノ前
フナモクセ掛ケテ持留ヘ右ヲクムル有
く事也同ニハ右若由中宗通中ノ如
候リ右致スルト包持一ニ

一 柄抄ヲ重シ重シ掛テ柄ヲ重シ一重時紅持
ユビノ下ヨリ交タルハ惡シ人ユビト如持モ

ト先ノ下ニサカリタカヨシ秘ニ本ノユビ一
柄ヲ更ケ去ガ落スモ悪シ柄ヲタシ秘ニテ
落スカヨシ

此ノ秘落カヨシ

一 柄抄卷一掛ル事ハ随分抄ノガウヲカシ掛
キドキカ名を凡ノ事ノ事也抄ノ柄抄ニ角
遠ニ重事常解也フロたニ前ハ柄去
也也ニ事同シ

一 凡ノ事ニハ重柄抄切リ柄抄川柄抄ト三

色有ニ切リ柄抄ハ大方ハ初ニスル也又仕也ノ
時スル事モヨシ名を始ニモ格クン事モナシ
初ニ重柄抄ニタレトテ不若ハ叔ニ重柄抄川
柄抄貴ノ度モ不若初終ニ重柄抄ニテ
不若ハ叔ハ随分望クハ叔切ヒヤクシヒ
ニヤクヲ更テ重ウ也

一 初ハ卷ノ前端一ウツムケテ合ウヲ掛ル也
是常也又湯吹出ナトスル時ハ合ウヲナ

ヲ釜ノ湯一掛ン事モ有リ是モ湯吹ニモ
不限ル先ハ之ヲお有り

一 宗旦後ニハ柳抄ヲた（お釜ノフタ脱時十
トノ柳抄ノ時た）ニテ柳ヲジツカリト想
ユビニテニギリの中也如何作候をノ想
事ハ能ク之ヲ宗旦通ニ候

自在之取アツカイ

一 茶点の時列ノれアツカイナシ茶点掛リ

テモ釜ヲおシトル事アリ是ハ釜ニ（中
時ニスル也）是モ流茶ノ時杯ハ宗旦
居前クツレ思キトテ湯好お候

クサリ之事

一 是モ茶点掛リクサリニツニツトル事有リ
是モ如く宗旦通沙好お候茶点候リ
炉前一寄杯スレハ杯クツレ思キトメ候
列ニアシライニ之候

一 河に水指二周の事

一 在吐和ゴミ前糸ノ時十ト用ヨシ又後、
糸ノ時十トヨシ併定リタム事ニハナシ其時
ノ糸氣也

一 糸長の時サエハハ四ツノエビニテヤサシ上
ケルエビニテ括カタメ其候所ハノトフ千
ト一息也掛ケ、重也サ蓋ヲスルニモ右ノコトク
括テ其候モハハ也也在河に重ツクルハハノ

方ヲ登一ムケヤハ



一 河にサエハ本目標ニ周也此又ハ之ニ用
以吏在今ニウラハ之ニ用ユ

一 在の時サ、在河にヲ重サハの時ヲ筋
遠ニ重サハ事アリ、又如ハ糸道

有く過二水重く如くはるる事なり
若き時ハセ又事也ト申す如く是れ心重
ケツミテハ重なり如く如く是れ心重
時濃なり如く是れ心重なり如く是れ心重
ニ重なり如く是れ心重なり如く是れ心重
以て名を執る古杯ニハ如く是れ心重なり
他タンスカウトニハ如く是れ心重なり

釜ニ水指す事

一 釜一あり指するハ炭ヲ仕也其意ヲ焚キ
自入所ハノ蓋ノ上ニ茶巾ヲ敷て之ヲ載セ如
く是れニ重キ在ニテ茶巾ヲ注^{注ニヨリ}
扱所ハノ蓋ヲ両方ニテ注^{注ニヨリ}釜ノ前ニア
ムケニ重キ釜ノフタヲ取り所ハノ蓋ノ中フテ
掛ケニ重キ茶巾ヲ所ハノ下ニ掛テ右ニ
所ハノ自ヲ扱^{扱ニヨリ}釜ノ前ニ注^{注ニヨリ}サ
所ハノ自ヲ扱^{扱ニヨリ}釜ノ前ニ注^{注ニヨリ}サ

茶中ニテ釜ノ蓋ハノアタリヲフキ茶
 中ニ居ル所ハノ蓋ノ上ニ蓋キを蓋ハアヲ
 ムケタル候也扱蓋ヲリノ候アヲムケナカラ
 所ハノ上ニセオノエトク扱メ也又オケテ
 釜ヲ掛也所ハノ蓋ハハヲ父ミムケナ
 是ニテ炉風炉ノウチ方アノ又所ハノ蓋
 ノ上ニ蓋ニ蓋ヲノセオノ事有リ候所ハ
 ノフタ取リナシ人ハ釜ノ蓋ハ是非如

新ス小キ釜蓋ハフタヲキ入不
 スハハ蓋角釜ノフタニヨルナリ

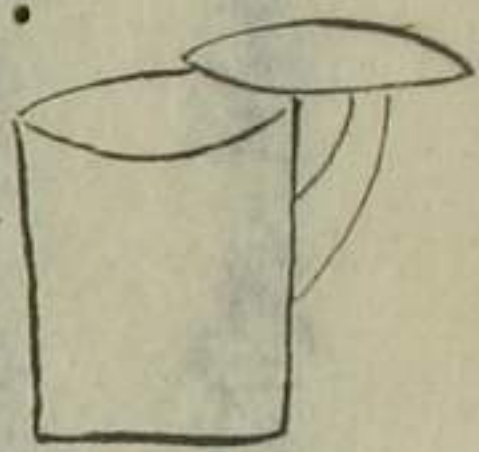


フタ蓋ヲ取リセ
 茶中モカクノコトニ

一 所ハニテハニ蓋ニ蓋ヲサス事ハ宜カ

大ハヲ取指ニセウナリ

一 夜中ナリニ蓋ヲサシテウチハアツカイ候
 事ナリ所ハノコトク蓋ハ取ナリ



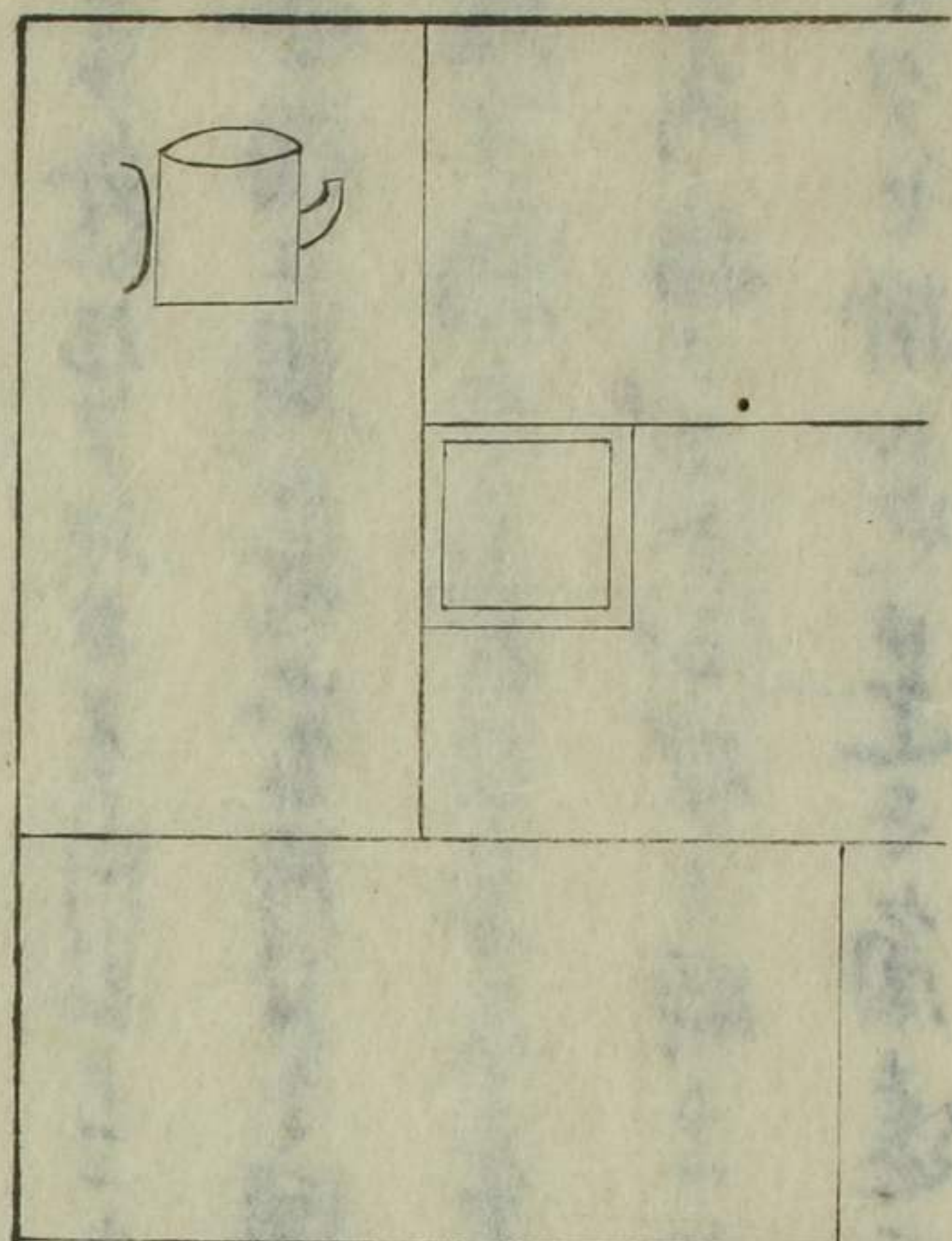
一 是ハ勝手道具也父を仕掛け時先是
ありて入る父をありて移す物也是等
名義ニテ父をありて指すニハ不用

ヤクハン事

一 釜をありて指す時ハケツシテ釜を重く添出

此釜を釜ノフタヲノセル事ナシ釜を重キハ
ヤクハンノ口ニサシテ指すヤクハンを指しモヤク
ハ外れツカイ所ハコトシ

一 水指ニ用ル也を所ハト同シ是ヲ重クテ
強ク向ウノ方ニ子サセニ重也釜ノ底板ハ常
ノあり指ノコトシ好ノ時ハノ十キ方ニ釜ヲ
モクセ掛ル也是モ角遠ニモ重



一 利休取柄ノヤクハシ有リ今モユウニ用ニ

曲水指之ルアツカイ

一 並分んハトジメヲ初ニスル也其意ヲ示シハ
 四ツノユビヲ下ガ掛ケサシトケユメ大ユビニテ
 持カタメテ家カ前トナレリ左、右ニテフキ
 ヲ持出シテ各指ノ照ヘモタセ掛ル也其意ヲ
 スルヲモ是同シ其意ハ目横ニモウ仙雙
 ハ之ニ由テ其意ハ之ニ由テニ之ニモウ



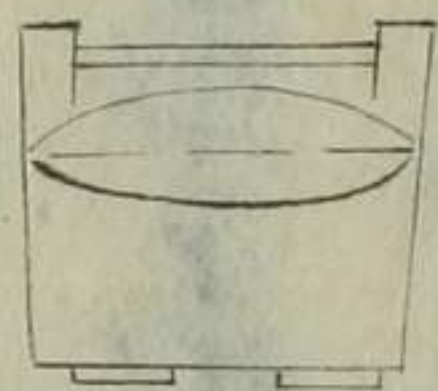
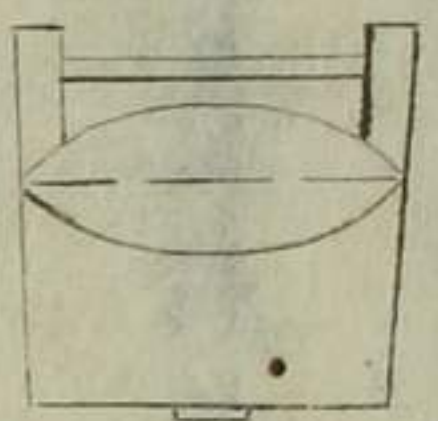
釣瓶を指之にアツカイ

一 持出時ハ右ニテ釣瓶ノ口ヲ持たせ
服一層一添持おん也是皆分ノ法也又
時モ氏ス定ム所ハ常ノ名指ノ如ク持出
一 炉内ノ口ニ指せし方ヲ各一方向ニ
振り振ハ蓋ノ向ニ右ニテ掛ケサシ前
川口ニ蓋ノ前ヲ右ニテ持付おん也
一 所蓋ノ上ニ七八分程掛テ又向一突也

二 三分程前一突シテ蓋スル時モ又前ノ如
右ニテ持出シテ後蓋スル方一七八分程先
ヲ掛ケ突也也又蓋ヲ前ノ如クシテ
其後前一振り前ニテ後蓋スル也
一 突也ニ付るモ有り也時ハ蓋スル時
又前ニテ也シモドシスル也是ハ仙波ノ
也事也此方ニテモ同ニハスル

一 風炉ノ時客ノ方ノ蓋ヲせん事有り

手ヲ持たずニ洗物也を扱也



一 蓋ハ蓋おするモ有りむ蓋斗り也手扱掛りたる恩シ

一 蓋ノ手柄蓋子木板一モ用ヤ四方板一モ用ヤ時うつたハ向一蓋子カタシ服ニ入也

一 内中板一ツ有ヨシ

一 蓋水指ノ取アツカイ

一 蓋多指ハ濃茶漬テ入るナシニ候蓋外也柄ノ入り目ニ蓋ノ上ニ茶碗蓋ヲ置ス事モ有り又扱物蓋ニ蓋ヲ張スモ有江岑棚ノ天井ノ如シ茶漬多ヲ指添ふるナシ蓋ハ曲物ニテ丸蓋ノ縁ノ高キ板扱也を蓋ハ板曲多指ノ事ナ

如之

平水指蓋元アツカイ

一 水指平ノ大瓶ハ蓋向ニ元也。此時水指
蓋ハジキヲ右ニテ元ニ候。向モクセ掛
ル也。又ハジキヲ右ニテ元ニテ左ニテ蓋ノ
横ヲ右ニテ蓋ノ前ヲ右ニテ水指
ノ向ヲ左ニテ掛ル。モ有。此方。能
キ也。水指ノ向ノ方上ニ也。又水指蓋

ノ左ニテハ中柱モクセ掛ル。モ有。柱ノ外
板ノ下通リ也。凡。部。所。也。扱。扱。蓋。重。ノ
ス。ク。モ。有。リ

水指蓋ニ水ヲ折事

一 蓋蓋ノ下也。先ハ夏スル也。併夏斗
ニモカキラス。是。合。電。付。ノ。系。氣。タ。ル。ニ。止。ル。
水指モ折也。フタ斗也。水ハカ、ラ、又、水
ニ折

水指甚多十三ニをたる

一 是ハ秦波宗安奈ノ湯屋ノ時平水指ハ
大如シ甚多中ノ時安奈ノ時流ハ甚多ハ
持リハントテお忘レ甚多十三ニをたるテ
縄ヲ打中ノ客ハ又ミテ殊ニ御面ハ
中ノ如ハ宗安奈ノ湯屋ノ時平水指ハ
今日ケ指ノ一ノミテお忘レ中ノ井上モ
時節流ハ是ノ比ニテ流リ悪クモスル

中ノ湯屋ノ時節流ハ是ノ比ニテ流リ悪クモスル
乃メトシ中ノ湯屋ノ時節流ハ是ノ比ニテ流リ悪クモスル
甚多十三ニをたるテ云リ是ケツミテお忘レ

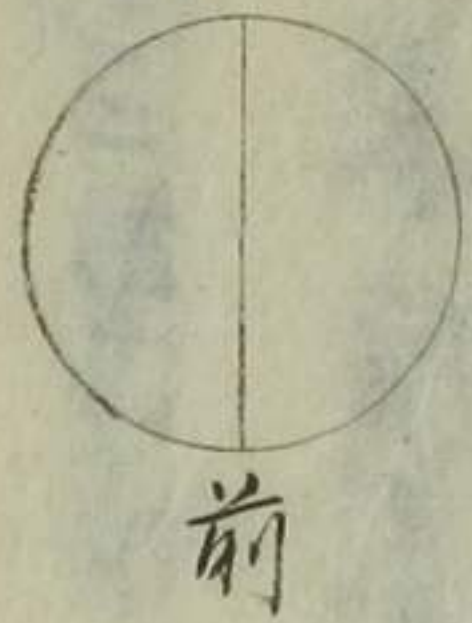
水指ノ多ヲ汲

一 口廣中ノ多指ハ物抄ヲ中ノ入前ノ方ニテ
多ヲ汲上ケ中ノ小キハ中ニテ汲上ケ中ノ

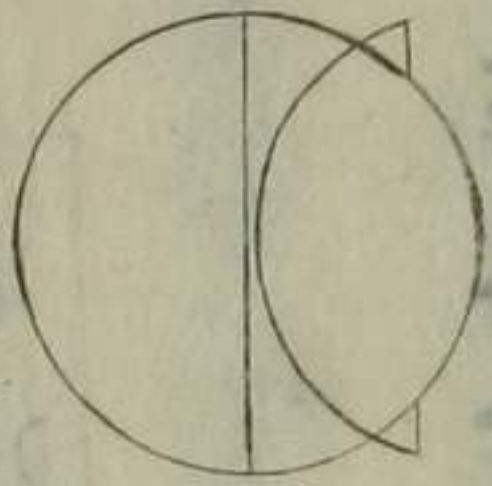
水指割甚

一 割甚ハ物抄甚多至強スルヲモ有リ

一 爲又ノ甚ク水なり半分分らん也皆らん時ハ
子掛タル候ヲ一ツニ水リ服ニ掛らん也を九キ
方カスル皆らんハ又十トノ事ニ常所半
分ヨシを答ノ方ヲ水也



一 割甚ノ各指十ヤウツカイナミハツルノ
也を三ニ連ナ

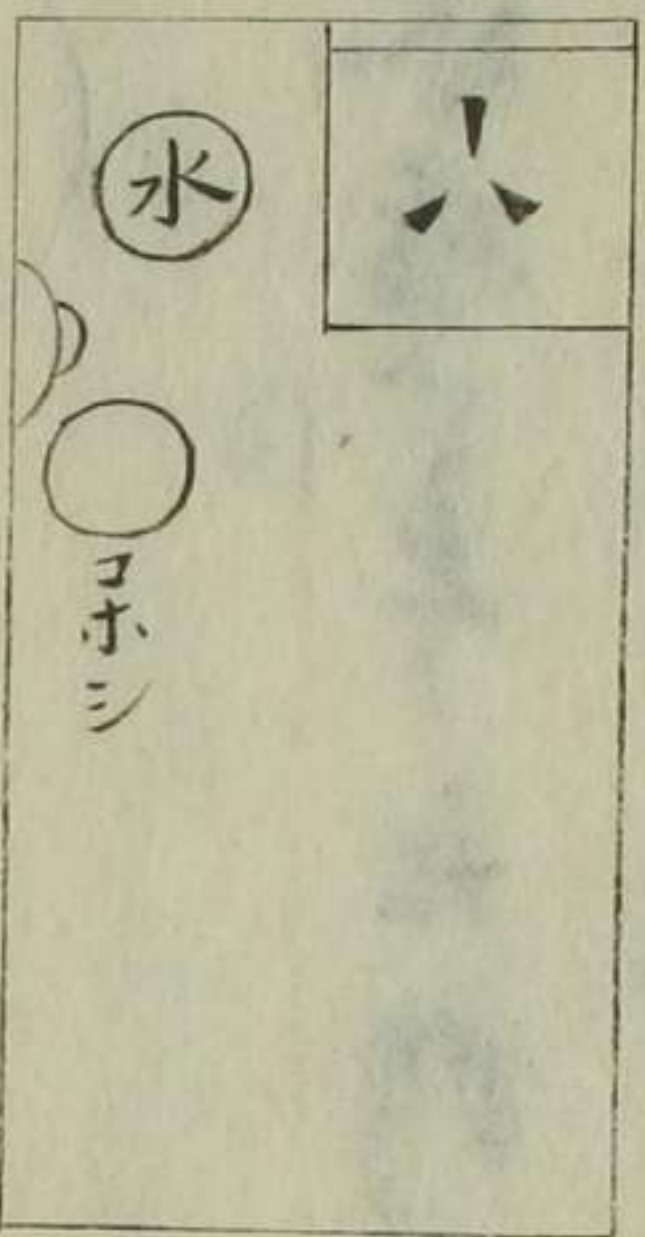


水指甚ノ水所

一 屏風フスニ指ニ掛らんニ思ミハハ所宗通
ハ各指一ニ掛らんニ多法好也

一 不審居ノ所
ツリタナ
を釣柳ノ下通り

一 蓋ハ多指ニ掛ルカ水指ノ通り蓋ニ掛ルカ
 一 又蓋ニテ多指ノ通りト水コホシノ先ト向一
 之掛ル事モアリ小サキ蓋十トヨシ



唐犬舎アツカイ

一 首ハフクサニテネリアツカイ段中ハ左
 心ハアツキ物トテジャウ張リノ環
 ニテアツカイヤ
 一 四方ノ舎アツカイ
 一 此舎ノ蓋切作ハ角遠ニ切りホシ是也
 此是切也



雲龍舎

一 此舎ニアイシライハ母ノ他ニテ雲龍ノ

アイシライトテあるパイ入又コホシ一サシ
汲れ中筆有は方ニテハ母くくる也常
ノ通り也

達ノ堂

一 フクサニテ丸アウカイスル炉ハ自在ニテモ
クサリニテモ用ユ

石焼釜

一 フクサニテアウカウ

仕付ノ鋸之事

一 四方釜中流就釜ナト仕付ノ鋸ハお徳居ノ
時ハ釜ヲ掛鋸ノ合セメ鋸外ノ内一モテ、重
クヨシ又ある人合セメ鋸外ノ内一モテ、重
モアリ是ハユシヤクニテ不官名ナ一ツルカヨク
ハヨシ

糸入水指表書ノ事

一 糸入水指ノ表トスルハ糸掛リノ糸氣能

取本ハ少シニテモ品留リ名所ヲ表トスル也

筒茶碗アウカイ

一 筒茶ワシ拭板ハ先ニテ拭キミテ
フナヲ拭ナリ茶巾ハミテフナ掛カラ
ミトナヲナナナニ重キ茶巾ヲ取テ茶巾
クミテ茶巾ノ蓋ニ重キ也又茶巾ノクミテ茶巾
中ニ入ナニ重キ茶巾ヲ取テ茶巾ノ蓋ニ重キ
モアリ

一 筒ハ冬用イ平ハ夏茶碗也

筒茶碗平茶碗ニ茶釜仕也

一 平茶ワシハ茶釜ノ穂ヲミテ入ナカヨシ
筒茶ワシハ茶釜ノ穂ヲミテ入ナカヨシ
仕也

大茶碗ノ時元アウカイ

一 湯ヲ注ニ時元ノミテ茶ワシナナナヲナ
左ノミナナナニ注ニ時元ノミテ茶ワシナナナ

ゆき也又茶巾ヲフキ一掛ケルコトヲ右ニテ
持前ノルヲ流湯ヲ捨リノ茶巾ニテ
五ニ拭キ事度ニハ惣ニ流茶ノ時十ト
一夜ハヨシト也此等茶巾通ニ仁

茶入事持候之事

一 茶入事ハ持出の時惣持ルアツカウ時ハ上
手ヲ掛ニシテ茶碗一茶ヲ入の時又ハ茶入ヲ
フキ、金杯の時掛ハ横ハ持中ハ又中取置候ノ

類ハ惣掛横ハ持中ハ

茶入見候之事

一 茶入見候ハ左ニテ礼リたノ手一
ノセサテ礼リ下ニ金サテテ茶入ノ手ヲ流
産ヲ見テ細ク也シム也サテ口仰リ振
ヲ見テ蓋ヲシテ次ニ也ス也又茶入ハ
テハ見也

茶入割蓋之事

一 茶ヲ汲時ハ蓋ヲ中ニ留テ茶ヲ汲也又茶
 ヲハライヤルヲミテ候ニ子ナカラレリテハニ
 重也此時蓋ヲスルニモミテ候ニ子ナカラ
 蓋ヲミテハノルヲミテ也又茶ヲハライ
 中時ニ茶ノルヲ留テモヨミ急須法
 茶杯ノ時茶ヲ多ク汲時ト包込ニテ又茶
 ノ蓋ノルヲミテモヨミウス茶ノ時ハ大
 半分也

一 ぬれ茶松本茶ノミテ常ノ茶ノミテ
 カイ同シ蓋ハたノル也在松本ノミテ蓋
 拭板一文字ノ落ミテノル
 一 割蓋ニ十ヤツガイノ母ミ有リ蓋ハ
 此タニ候ニミル也蓋ヲハライ時ハ子
 ナカラト也 如是ナリ

一 平茶入ノルアツカイ
 茶汲時ハ常ノルヲたりニテ在ニテ

茶抄ヲ抄ナカラシメテ又ヲ抄ナシノ年一
ノセ大工ビヲ又之類ノ掛ケテ置ラレ茶ヲ
汲也ナノ所一由スニモ右ニテ抄重シニ重
ニナリ拭紙者ノ如シ

水テキノ事

一 重テハ口ヲ釜ノ方ニ向キハ向ウス
カ也拭紙者ノ如クフタヲ拭テ柄ハ也
不中向ヲ一ヘシ在ナフキヲ如クモ

一 一ニ拭テ重テ也茶ヲ汲時ハ口ヲ重カ
ヘ向ケル

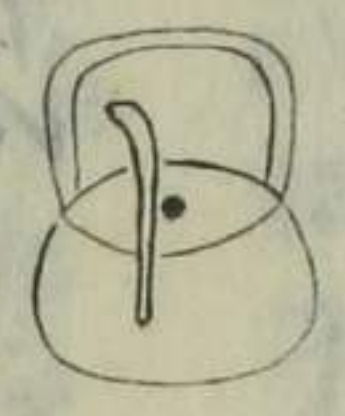


ツル竹茶入ノ事

一 此乃又拭紙者ノ如シ重テハツル横ニ
也茶抄ハカイ先ヲ重テ一掛ケナハズ
外ニ重カヨシ又ツルノ中ヲ通シ重テ如ク

フタノセテモヨシ侮是ハ弦ヲ割テ修リ
 五好ハ始テ首ヨリスル也茶ヲ汲時ハ
 弦ヲ立ニ拵也

一 茶ヲツルもウルク一ニイ蓋ヨシ又弦ヒリ
 して割蓋也勿論千ヤウツガイナシ



茶ツル立ツモ蓋ナシ
 有リを茶杓ハナシ

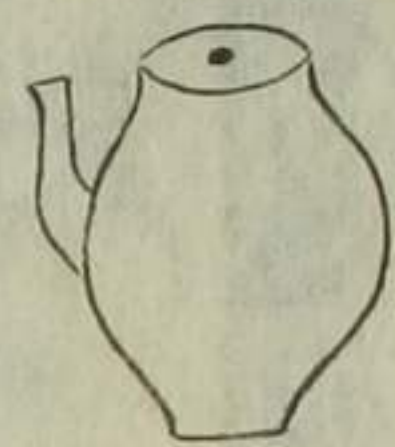
茶カメ茶入ノ事

一 拭櫃多テキノ如シ茶汲時ハ食ヲ向ス
 茶煎時ハ多テキノテリ茶有ニ茶茶
 ノ方カ向リ也



湯テキノ事

一 重なりハ口釜ノ方カ向カ也茶ヲ汲時ハ
口前スル也



石水テキ手カメニ外世乾候ハ金瓶ニ
ありテ横ニ入ルカ也之ヲニ入ル
時初メ重なりハも候也之時ハ後候
リおシテハ又之リノ如ク重なり也

ハダカ茶入之事

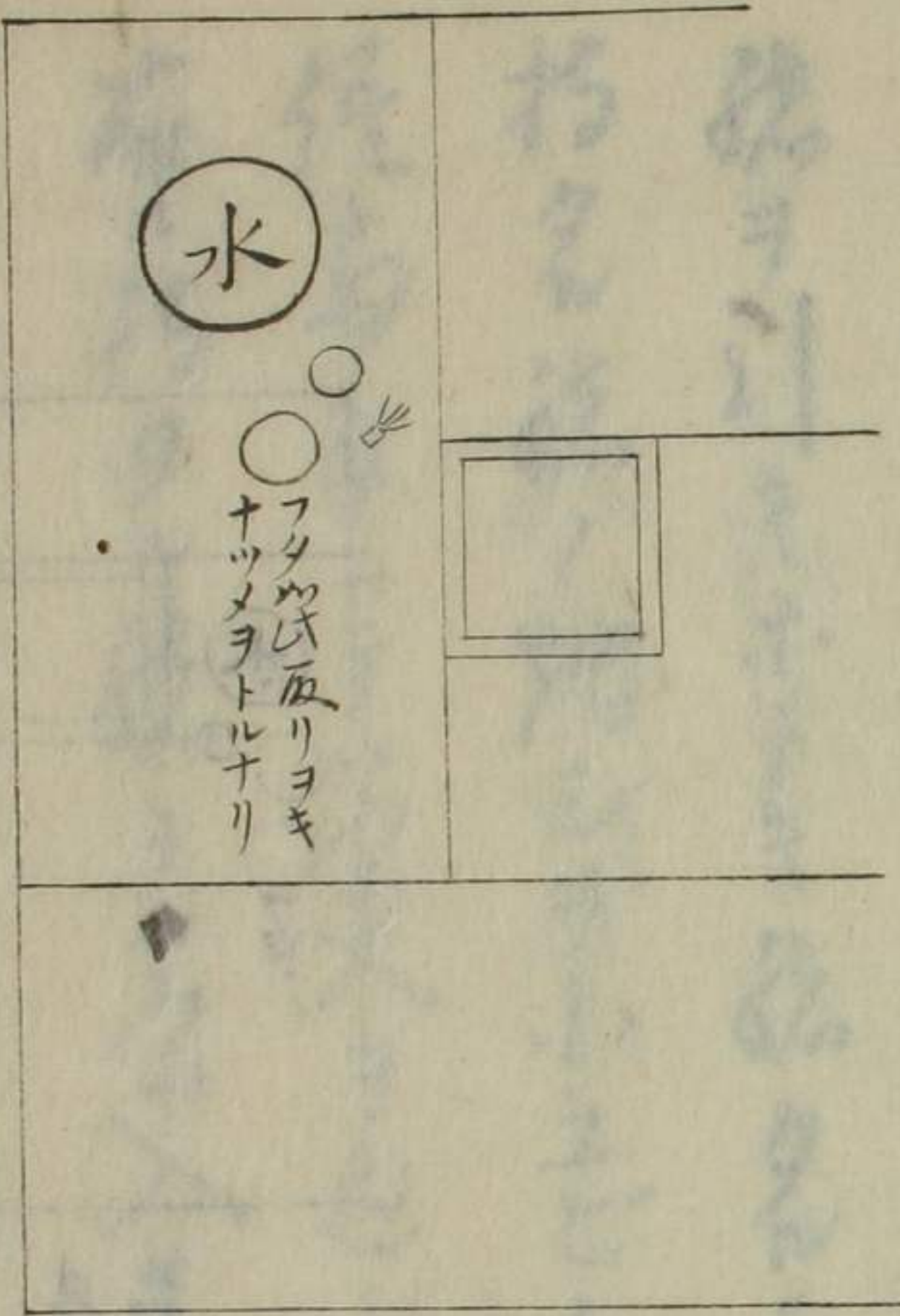
一 是ハ大茶又カ又ハ強候ノ事也大茶又ヲ
ハダカニシタハニモ角力取振ノハタカニ
味ノ能物也時ノ相好ニ依用之

たニテモラト

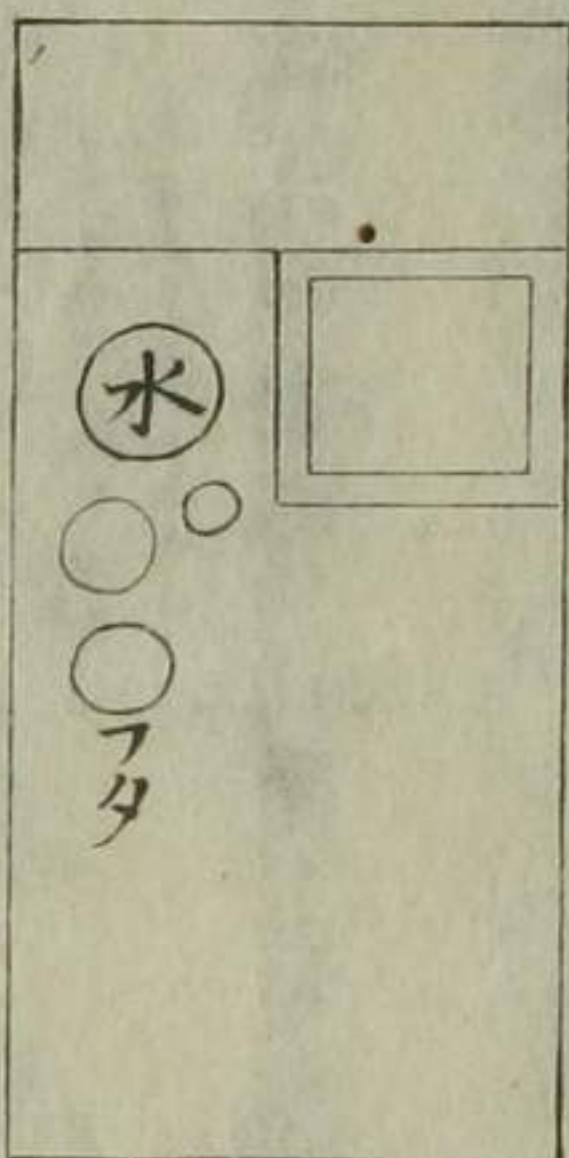
東ノアツカイ

一 茶汲時ハ右ニテ茶抄ヲ取リ右ノ條ニ
テたりニテ並行タレ候事ノ其趣ヲ取リ

事ノ前ニ重キサテニテ事ヲ成リ
 事ヲ成ヒ事碗ノ前ニ重キサテニテ事ヲ成リ
 蓋ヲシテ事有リ是ハ利体折ノ事
 同ニテ事ヲ成ルル事ハ利体折ノ事
 シタルハ事ハ利体折ノ事ハ利体折ノ事
 一度ナレハ事ハ利体折ノ事ハ利体折ノ事
 事ナレハ事ハ利体折ノ事ハ利体折ノ事



事ハ内事目カ向カカ能ハ事
 ニテハ事タル所ニ思ク見ニ事



水目モヤシニフタ
前直ニトルナリ

長緒ヲツカイ

一 糸又ヲ常ノ如ク糸一糸ヲ糸又ニ掛ケ右ニ
結ヲ川キホトキ結タルニ糸又ニテ川ニ
結タルノ端シヲ小ユビト紅指ユビニテ結
候事ニテ糸又ヲ也シ常ノ如ク糸又ヲ也
右ニ結タル結ヲ糸入ノトニ重ニ結右ニ
糸入ヲ結左ノセ太ニテ結ノハシヲ糸又ノ
結ノ糸入ヲ也シトニ重ニ

糸入ノ糸又ノ小ユビト
紅指ユビニテ結

サテ他家ノヨウニテテたニテ持たニテ結ヲ
たノ人指ユビニツキニ編ニテ他家ノ内ニ結ヲ
入常ノ如クニ重なり也長結行ノ掛事ナシ

人津他家之事

一 他家ヲ就ル時ハ常ノ如ク前ニテホドキナクノセ
事ヲ出シテモヨシ之ハたノ持右ニテホドキタ
ルカヨシ他家ハニツニ折リテ常ノ如クニ重なり也

勿論向カ前ニ折也



ケルノ物也

糸入世面ヘイジツク

一 蓋ヲ起リヤル所常ノ如ク起リタル内ニテ
区シタムヲアラムケニ重事ナリ是ハイジ
ツクニ限タル事也他家ノ如クハ重なり也又
也又常ノ如ク起ルハ常也

フクサ包ノ茶入

一 常ノルリ茶入前ニ並ぶニテホドキある
 分ケ茶前ニ添タル角ヲ向ヒロケ向ニ掛り
 タル角ヲ左ニ掛前ニ向張り右ニテ茶
 持チ上ケ左ニテフクサヲ焚トリニフクサヲ
 並ニ並ニともなり也又並ニ左ノ角ノセテニテ
 ホドキ茶入ヲ左ニテ掛ルニ並ニモヨシエノ付ハ
 茶入ヲ左ニテ添りタラハ左ノフクサ並ニ並ニ

中ノ角ノ上ニ並イヒロケテ有ハ思シ

茶抄・茶入

茶入は茶抄ノ角ノ上ニ並イ
 又茶入は茶抄ノ角ノ上ニ並イ

一 炉ニテハ茶抄茶入ノツクノ角ノ上ニ並イ
 風炉ニテハツクノ角ノ上ニ並イ併茶入遠イ
 タル時又茶抄有ハカハ先斗リヨ茶入
 掛ハ茶入ニヨリ茶入思キ有ス合ニテ
 ノセテアシキハカイ先斗リ掛ル也又付ハ
 右ニ茶抄掛タル上ヲ左ニテ掛チ左ニテ又

中祿ヲ抄爲ス一掛ナリ元時ハ右ニテ
之儀元也フニナシク傳スニ記ス

一 系抄重付ハ字又重ハ向ハ重キニ
中ハ一文字ノ重ハ直ニ重リ

榮抄拭帳

一
常解ハ先カイ先斗リフク也又ナノ方ヲ
フク事セアリ先是ハミキヲミライ也ハ
時ハ又フクサヲミミミテナヲ拭カヨシ

常ノ流系ノ時毛召六改クニ時ハヌニ也

六德蓋至之事

一
素子と板ノ所ハ水ヲ示シテ出シ凡ヨトニシテ
空ナリ也サテ父全ノ世ヲ流ル時海ノ方ヨトニ
返シ中山を初終メ一本前也返シ根ハ在ニ
テ其處ニ空ヲ流リたり又今ノセテ返シ在ニテ
空ナリ也勿論信也ニモ抑揚ヲ仕セウテ
五ニ前ノ如ク凡ヨトニ返シ中山抑揚掛所ハ

一 本ノ風物ノ柄ノ通り也を水コホシ入
時モ風ノ方上也

一 炉ノ時柄ノ時モウ時ハ柄ノ角常ノ角
ニ重クニモ太基金子ノ通り也アウカウ

一 勝手ノコホシ入テ出ル事ハ大方ハセ又事ニハ
柄ノ角又ケ柄ノ時ハ常ノ角ノ柄ノ角ヲ在ニ指
右ニテ重シ重ク出シ右ノ内ニテ通
上ニ通シ重ク也

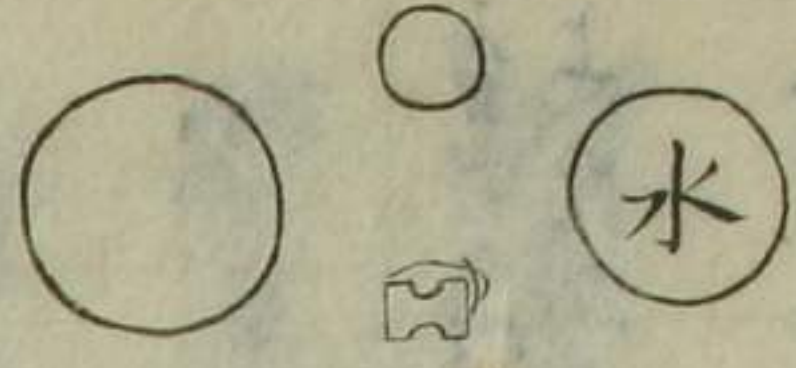
一 閑人蓋重

一 人形ノ方ハ一シテ重ク也谷ノ蓋重時
柄ノ時ハ柄ノ方ハ一シテ風柄ノ時ハ風柄ノ方
通シ中ハ又柄ノ掛ル時モ通シテ掛也

重ク時ハ柄ノ方ハ一
上ニ既向ク心柄ハ一

通シタル時ハ一

↑



臺子長板ニテハ
谷ノ底面ルトキ
ハ氏客方ノ方ニ
既ヨ返スナリ既
上ニ向ト心持シ

フ口

フ口ノ時
ニ至ルハ
ハ氏客方

フ口

返シタル時ハ
ハ氏客方
カシラ向ナリ

三ツ唐子

一 是ハ返スルナシ既ヨ忘タル形ニアリ
是二人ノ方カ前也又柳抄川時ハ向三人天窓
合ウヲ掛ケル也を一人柳抄扱ノ通リ也を
介子細ナシ柳風炉トモ同シ

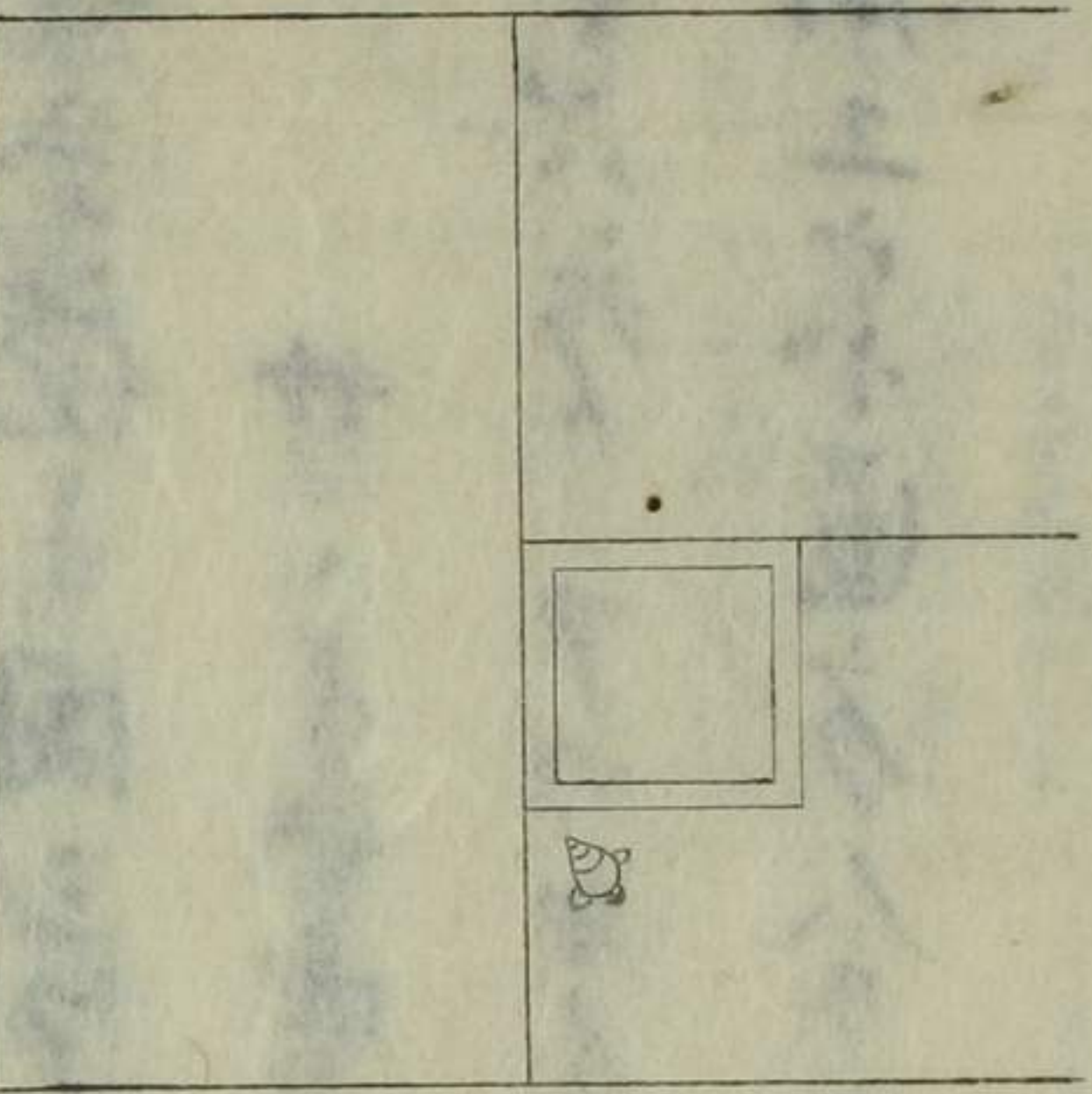
一 ニツ羽書並ニ並

一 セニキ方ヲ上ニシテ並分ン也又ノ書並九ノ時迄
シヤハを二ツノ方前也柳抄扱時ハ扱ノ通リ
也ハ徳ト同シアシライ也

サ、イ書並ニ並

一 是ハ方リアツカイハ往ト同シ也利体ハ
用工宗通方今ニナリ

サ、イ、ハ、シ、リ、ヲ、答、ノ、方、ニ、サ、シ、角、ヲ、掛、ケ、
 重、質、ナ、リ、答、ノ、フ、タ、元、時、迄、シ、免、時、ハ、三、リ、
 分、右、ノ、方、ノ、瀬、迄、を、扱、扱、引、時、ハ、迄、シ、テ、
 引、ハ、迄、シ、板、ハ、遠、ノ、如、シ、



一 木、子、長、板、ノ、時、ハ、サ、重、ヲ、仕、十、カ、ラ、ニ、重、質、答、

一 木、重、ヲ、元、時、ホ、ヤ、ヲ、右、ニ、テ、元、在、一、ノ、セ、在、ニ、テ、

木、重、ヲ、元、時、迄、シ、テ、重、質、子、木、ノ、前、ニ、重、質、答、ノ、

木、重、ヲ、元、時、迄、シ、テ、木、扱、扱、ヲ、扱、扱、之、指、シ、

又、前、ノ、如、ク、ホ、ヤ、ヲ、元、時、迄、シ、テ、木、重、ヲ、元、ノ、如、ク、ス、ル、

木、重、ヲ、元、時、迄、シ、テ、木、扱、扱、ヲ、扱、扱、之、指、シ、

木、重、ヲ、元、時、迄、シ、テ、木、扱、扱、ヲ、扱、扱、之、指、シ、

木、重、ヲ、元、時、迄、シ、テ、木、扱、扱、ヲ、扱、扱、之、指、シ、

木、重、ヲ、元、時、迄、シ、テ、木、扱、扱、ヲ、扱、扱、之、指、シ、

四、角、板、ヤ、カ、ク

一 炉内を中々至目ニテモ炉縁ノ通至ニ
至付柄抄ノ也風炉ノ所ハ角遠ニ至キ
柄抄柄ノ通リ一志至如力向ケル

一 柄抄ニ合カ焼物ノ至至ヲ用イ又柄抄
ハ竹ノ至至ヲモ揚ル

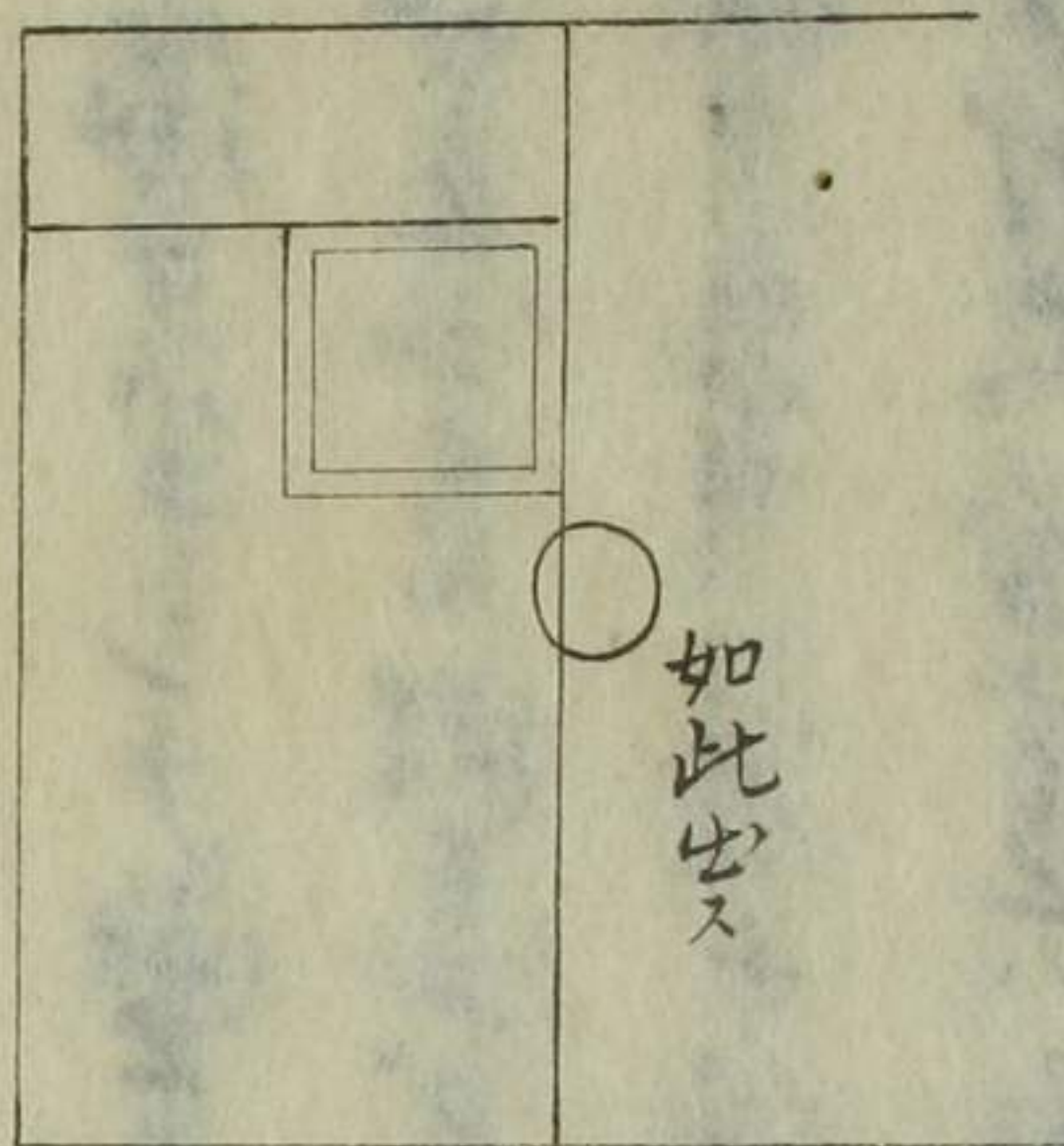
力ニノ至至ニ至キ

一 此ノカイ子細ナシ候リ至至物也至通
至通

一 釜大至至ノアシライ

一 初至至至至ノ如ク至至柄抄ノ也釜ノ
至至時柄抄ヲ持至至至ヲ右ニテサシ外ノ
方ニ炉縁ヲハナシテ至至至父至ノ至至ヲ至
又釜ノ至至シタ時モ本ノ如クニ至至至至柄
抄ヲ掛中ニ至至至至至ノ時モ如
向至ノ時大至至至至ノ如ク出シ
至至初ノ如ク至至至至柄抄掛中至

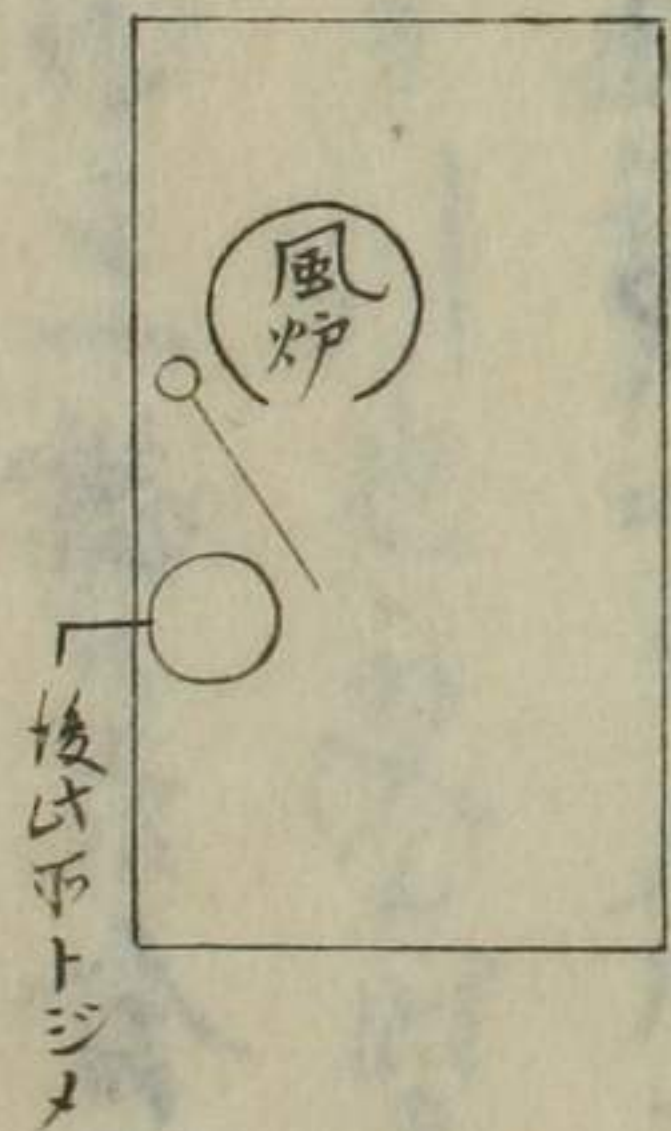
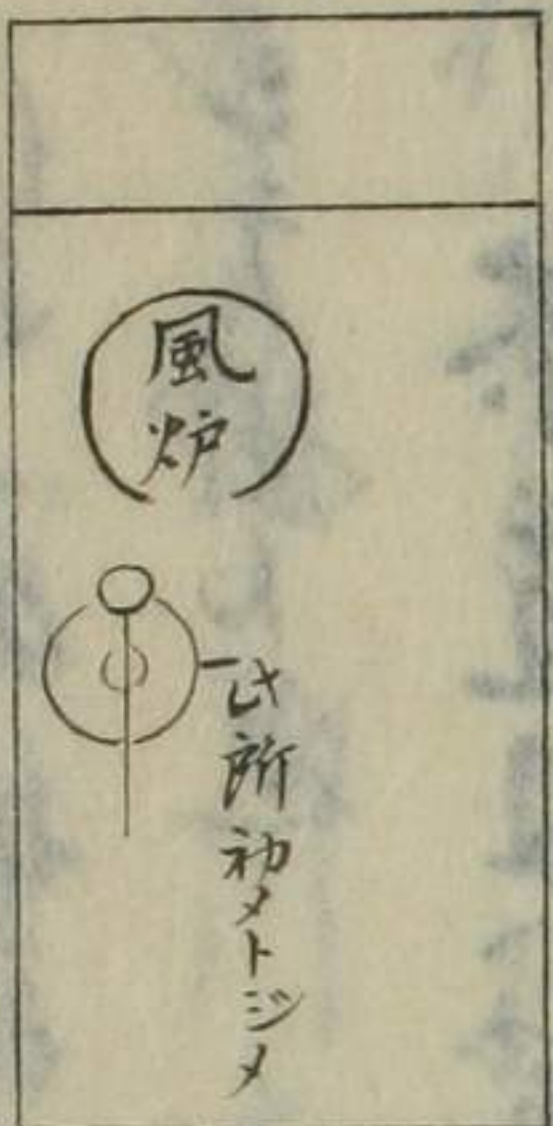
ノ蓋の形、出ス



一 曲水コボシアシライ

一 指出し時ハトジメヲ在ノ方盡一向テ指し出ス也

サテ柳抄、重ヲテ又トジメヲ壁ノ方ト出ス也
是ハ古風也如心宗通ハルベキナリ



糸波ハ右ノコトクシテ指し出ス後ニトジメヲ依テ

也シヤム

一 コボシ重所ハ膝ヨリ下ニハトシテ一也ト重

水ゴボシ一柄抄掛ん

一 一ホシ掛ん時ハ柄抄ノ合ウヲコホシクテ
掛ケテ出サハス又ハ柄抄ノ合ウヲコホシクテ
ハ柄抄ノ合ウヲコホシクテ掛ンニ合ウヲ
落シテ掛ン也

茶道具運つ

一 通見ハ水指ハ茶碗又ハ茶托トテ金
物ハ皆客ノ方ニ送り掛ン仕合ウテ

金入時モ同シ又ハ時ニ金コホシ中リハ膳

ノ方ニ送り交ン也又ハ茶碗又ハ茶托トテ

水指ハ金コホシニテ持込茶碗又ハ茶托トテ

金コホシハナシ川太ヲハ也又ハ時モ金

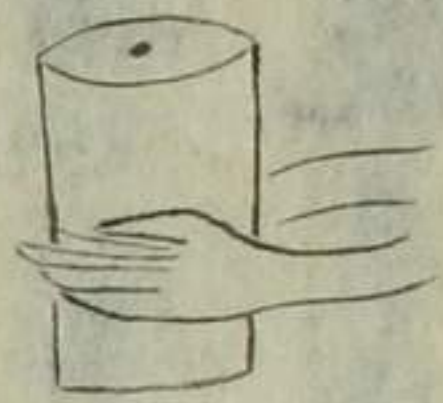
コホシヲ掛ケたヲ金コホシヨリ掛ケヤ

一 又ハ茶碗ヲ掛ンハ金コホシヲヒクウ掛

金コホシノ上ケテモナシ也又ハ時モ

金コホシノ上ケテモナシ也又ハ時モ

在交^ん時モ^ろ茶^ふを^ん茶^ふ碗^んに^ん也



水サシぬはモ^ろチイ^ッル

今日茶^ふニ^テ茶^ふ点^ん事

一 多^く茶^ふイ^フ堂^{だう}庫^こ同^{どう}様^{やう}ニ^飾也^ん茶^ふ点^ん時^じ
水^{みづ}亦^{また}モ^ろ大^{だい}方^{ほう}ハ^お出^でサ^る也^ん又^{また}多^く茶^ふニ^テ三^{さん}

五^ごニ^も違^{ちが}イ^フ一^{いつ}湯^{とう}ヲ^お控^こん^で交^まモ^ろリ

道安^{だうあん}庵^{あん}浦^ぷニ^テ茶^ふ点^ん事

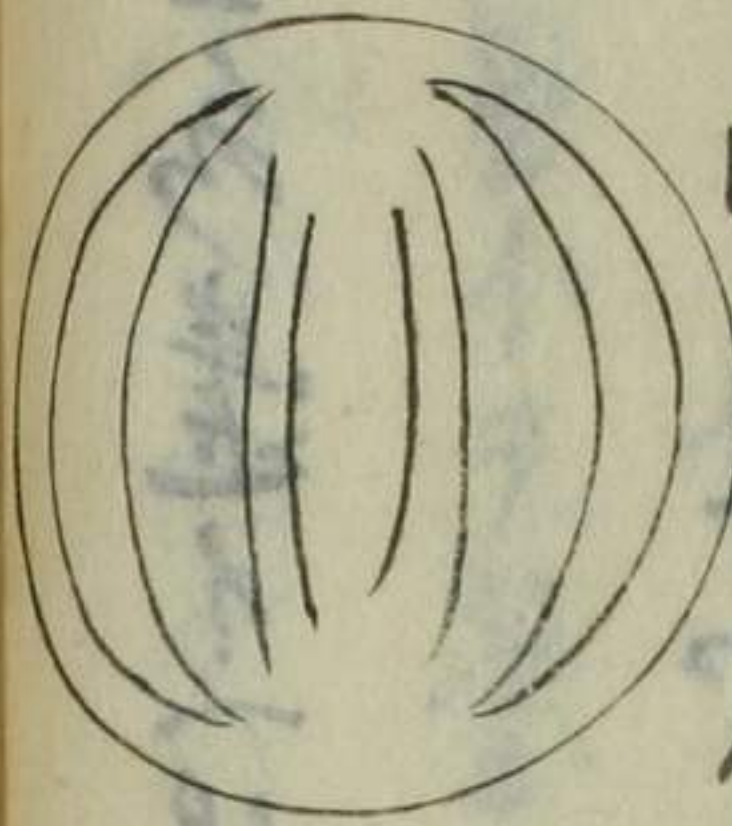
一 世^よ々^々茶^ふニ^テ茶^ふ点^ん時^じハ^は中^{ちゆう}柱^{ちゆう}太^{たい}ノ^の方^{ほう}ノ^の火^ひ
能^{のう}ハ^は明^{めい}テ^て交^ま居^ぐノ^の上^{じやう}ニ^に茶^ふ点^ん事^じハ^は茶^ふ点^ん事^じハ^は茶^ふ点^ん事^じ
柳^{りゆう}也^ん

茶^ふ点^ん時^じ膝^{ひざ}ヲ^お交^ま事

一 茶^ふ点^ん時^じ右^{みぎ}ノ^の膝^{ひざ}ヲ^おシ^テ事^じハ^は茶^ふ点^ん事^じ

茶碗拭極之事

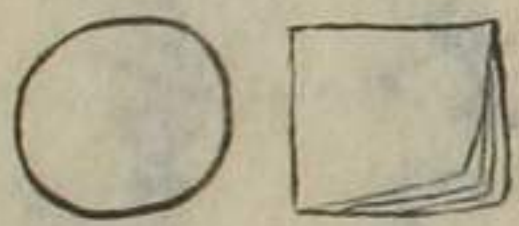
一 茶碗シテフクフハ定リノ通フチヲグンくトニ
 四ツシ程フキ茶巾ヨ中へ入ル由シ中ヨフク
 多ク夢ノムク拭ク也右ヨフキ左ヨフキ中ヨ
 ニツ拭ニ重キ自前ノ時ハ極テムシナリ也
 ハ又略スル所中ヨニツ程ニテお潔也



如此フクナリ

茶碗一ツクサ付出ス事

一 常解ハ常未コヨフク時ノムクフクサ折テ
 出ス也右茶碗分ノ方也返ス時モ同所
 一 懐中カおシ四ツ折ニシテおスハ谷々紙ト
 同前也



茶巾

フクサ

主方

茶釜トモ又同ノ事

一 茶釜を又又重なる間ハ其ノ目四ツニ格を
 相也ト申ヨウ申ハ二ツニ重キテモ不若クハ

茶ヲン持候

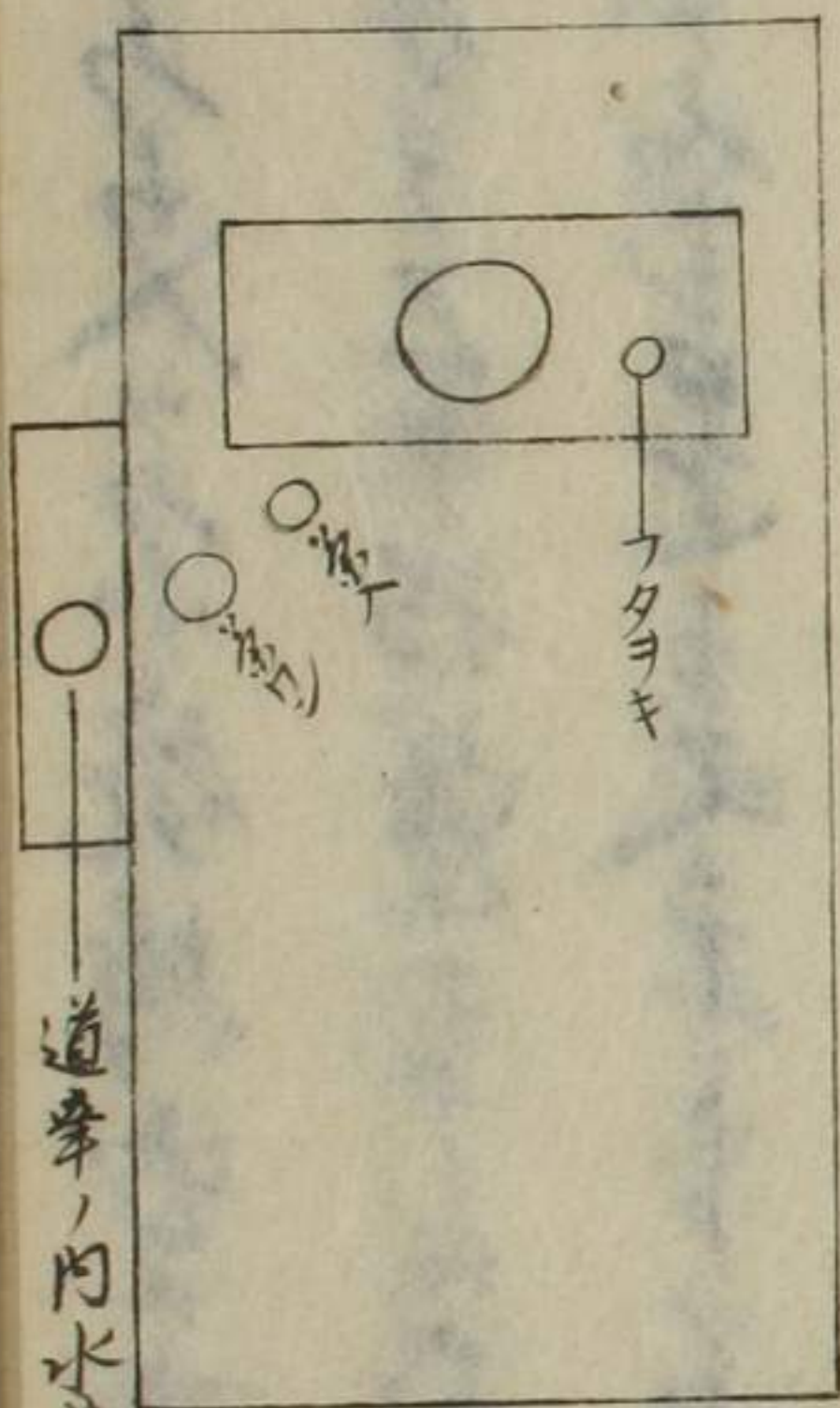
一 風炉ニテ柄ノ前ニテ仕廻時右ニテ折る
 ヲサトリ(右斗リニテ重トト重右方カ能
 中ノ出内中ノ出カ能ニテモ重合ス
 不若クハ先右ノ方能ハ中

一 茶釜掛ハ付水サシノ前ガ重ニなるニテ
 茶碗取リテト申事悪クハ

道奉

一 道奉が重ニ茶釜ト云又ハ月足ハ格を
 ノる也常ニ用ル事ニハナクハ

星ハ長板一ツ重ナリ
 常ノフロニテモ



道奉ノ内水サシ

ろ文茶碗持出之事

一 茶ノ方ヲ上ケ持運ヒヤムをたりと云
時モ常ノ如シ是モ又未ト茶ヲ已ヨシ極ニ
持タルカたニ云ハ能アリタト云仁ハ

流シ傍之事

一 是ハ向切ナリと云之ヲ也四角ニ
モ極中ノ併先ハ向切ナリ之事也流
シ云ハ向ナリと云也此等ニ半ノ流ニト云

子ハ此等ニ半ノ流ニト云ハ不云

妙茶店

一 此ノ時モ此等ノ茶同前也

一 茶ノ湯ノ時ニ扱フスニハハズスハ思ハ氣ノ
時又ハ折置ノ事也

四角ニ半ニテ

一 四角ニ半ニテ初ノ茶碗ハ一ツあり此等
此等ニ半ニテキテニ云ハル事モハルキ

ニハナクハフリアシナトノ所ハ又ヨシト云ハ

茶入茶抄代名也事

一 茶入茶抄代名也事ノコトクハシ代名ハヨク客ノ

方ニムケル事有ハハ客モ相客ニ也

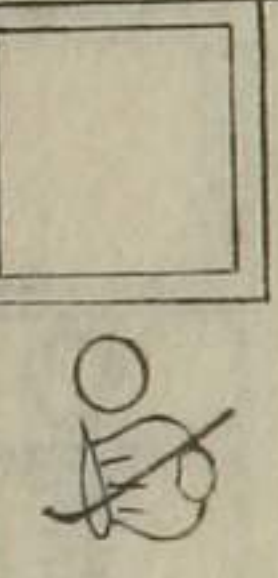
又又亭ノ一返ス時モ又又亭ノ一返ス也又又亭ノ

上ニ茶抄ヲノセ也事モ力有リ也又又亭ノ

ト代名ヲ出シ茶抄ヲノセ也也茶抄ノ

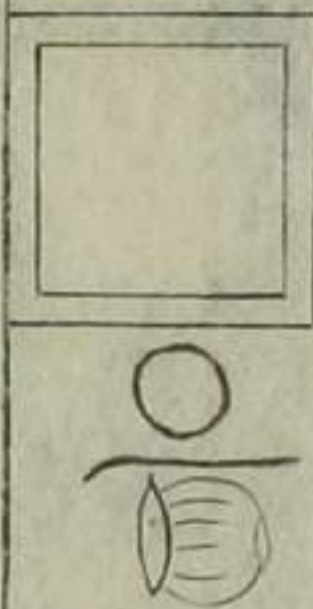
客ノ方也返ス時モ又又亭ノ一返ス

茶入茶抄代名也事ノコトクハシ



此ノセル夏茶抄
ニヨリ子細モア
ルトキノ事也

常解出ス



茶入之緒トク事

一
緒トク時あるニテ初メヲトクハ先ハ重キ
自前ノ事也常解所ニ併今ハ其
ノ方多クスル也

名世書者名之然宗左之祇能口授
授寫之平

一
寬延二己已祀

藏入器十之四

必不許他見

之

藏入器十之四

名世書者志于然宗左之祇能口授
授寫之平

寬延二己巳記

一葉の〇市層子也
主身二層の地板を掛
主身二層の壁を掛
主身二層の柱を掛
主身二層の梁を掛
主身二層の瓦を掛
主身二層の土を掛
主身二層の石を掛
主身二層の木を掛

必不許他見

